



2010年8月期 決算説明会

2010年10月19日

株式会社 **ビックカメラ**
(東証一部:3048)

1. 2010年8月期 決算
2. 2011年8月期 業績予想
3. 今後の取組み

1. 2010年8月期 決算

決算ハイライト<連結>

	2009年8月期		2010年8月期				
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	589,177	100.0	608,274	100.0	+3.2	600,000	+1.4
売上総利益	142,299	24.2	150,412	24.7	+5.7		
販売費及び一般管理費	133,444	22.6	135,648	22.3	+1.7		
人件費	36,862	6.3	37,119	6.1	+0.7		
ポイント費用	43,269	7.3	45,236	7.4	+4.5		
その他	53,312	9.0	53,293	8.8	▲0.0		
営業利益	8,854	1.5	14,764	2.4	+66.7	12,600	+17.2
営業外収益	3,365	0.6	3,596	0.6	+6.9		
営業外費用	2,852	0.5	6,601	1.1	+131.4		
経常利益	9,367	1.6	11,759	1.9	+25.5	8,700	+35.2
特別利益	13	0.0	470	0.1	+3,279.3		
特別損失	748	0.1	2,445	0.4	+226.8		
当期純利益	5,094	0.9	5,965	1.0	+17.1	5,200	+14.7

決算ハイライト〈単体〉

	2009年8月期		2010年8月期				
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	465,575	100.0	494,766	100.0	+6.3	487,000	+1.6
売上総利益	116,260	25.0	125,558	25.4	+8.0		
販売費及び一般管理費	107,964	23.2	112,308	22.7	+4.0		
人件費	25,585	5.5	28,223	5.7	+10.3		
ポイント費用	39,217	8.4	41,290	8.3	+5.3		
その他	43,161	9.3	42,794	8.6	▲0.9		
営業利益	8,296	1.8	13,250	2.7	+59.7	11,000	+20.5
営業外収益	3,563	0.8	3,624	0.7	+1.7		
営業外費用	2,468	0.5	2,112	0.4	▲14.4		
経常利益	9,390	2.0	14,762	3.0	+57.2	12,000	+23.0
特別利益	9	0.0	724	0.1	+7,418.7		
特別損失	536	0.1	8,171	1.7	+1,422.1		
当期純利益	6,195	1.3	4,085	0.8	▲34.1	3,400	+20.2

売上高〈連結〉

売上高 6,082億円

(前期比+190億円 計画比+82億円)

単体

4,947億円

前期比+291億円

計画比+77億円

◆既存店

・前期比103.8%

◆新店

・09/8期開店 2店(浜松店、新潟店)

・10/8期開店 5店(鹿児島中央駅店、船橋駅店、聖跡桜ヶ丘駅店、
新宿東口駅前店、相模大野駅店)

◆前期比で高い伸びを示した主な商品

・テレビ、レコーダー、パソコン、エアコン、空気清浄機

連単差

1,135億円

前期比▲100億円

計画比+5億円

◆ソフマップは前期比減収だが概ね計画どおり

◆連結子会社の吸収合併

(株)ビックオフ、(株)ビック・スポーツ、(株)ビック・トイズ計3社)

営業利益〈連結〉

営業利益 147億円

(前期比+59億円 計画比+21億円)

単体

132億円

前期比+49億円

計画比+22億円

◆前期比49億円増加の内訳

■増収 19億円

■売上総利益率改善 19億円

- ・品目別売上高の構成変化
- ・取引条件の改善
- ・V-Link等による商品在庫の適正化

■販管费率改善 11億円

- ・経費のコントロール
- ・効果的なポイント付与

連単差

15億円

前期比+9億円

計画比▲0億円

◆日本BS放送の黒字化

- ・前期実績より大幅改善(営業利益▲8億円⇒+1億円)

経常利益・当期純利益〈連結〉

経常利益 117億円
(前期比+23億円 計画比+30億円)

当期純利益 59億円
(前期比+8億円 計画比+7億円)

単体 147億円 (前期比+53億円 計画比+27億円)

単体 40億円 (前期比▲21億円 計画比+6億円)

◆営業外費用

- ・持分法による投資損失 41億円
(ベスト電器事業再構築に伴う
損失として連結のみに計上)

◆特別損失 24億円

- ・減損損失 19億円(横浜西口店等)
- ・有価証券評価損 1.7億円
(ベスト電器株式評価損61億円は
単体のみに計上)

◆税金

- ・税効果会計の適用
(ベスト電器株式評価損の損金算入)

主要子会社の業績



株式会社 ソフマップ

	2009年8月期		2010年8月期					
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)	計画 (百万円)	計画差異 (百万円)
売上高	94,052	100.0	91,143	100.0	▲3.1	▲2,909	92,000	▲857
経常利益	156	0.2	▲28	▲0.0	—	▲184	170	▲198
当期純利益	50	0.1	▲183	▲0.2	—	▲233	10	▲193

- ◆売上高 ほぼ計画どおり
- ◆営業利益 中古商品の粗利低下、ポイント費用の増加
- ◆当期利益 店舗移転等に伴う特別損失を計上

日本BS放送 株式会社

	2009年8月期		2010年8月期					
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)	計画 (百万円)	計画差異 (百万円)
売上高	3,035	100.0	3,595	100.0	+18.5	+560	3,400	+195
経常利益	▲938	▲30.9	10	0.3	—	+948	▲200	+210
当期純利益	▲962	▲31.7	6	0.2	—	+968	▲200	+206

- ◆売上高 認知度の向上に伴い広告出稿が増加
- ◆営業利益 番組調達費用や制作費用のコントロール

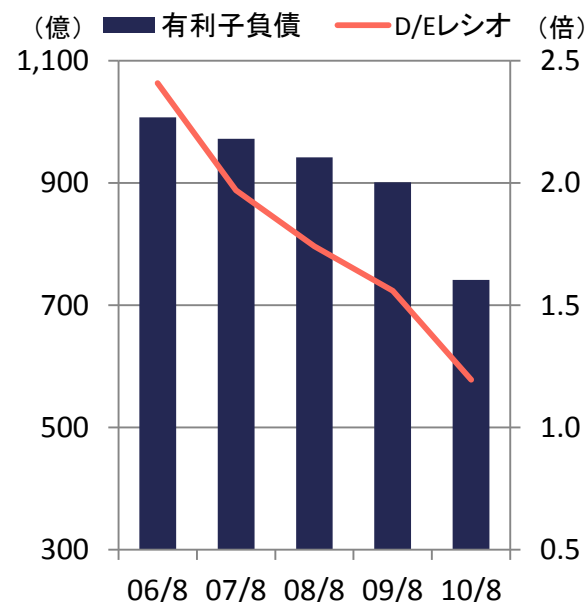


貸借対照表〈連結〉

(単位:百万円)		2009年8月期	2010年8月期	前期比増減
流動資産	現金及び預金	24,401	24,006	▲394
	受取手形及び売掛金	18,350	20,097	+1,747
	商品及び製品	36,914	35,182	▲1,731
	その他	24,851	24,002	▲848
	流動資産合計	104,517	103,289	▲1,227
固定資産	有形固定資産	62,203	60,172	▲2,030
	無形固定資産	14,069	14,744	+675
	投資その他の資産	50,009	43,448	▲6,560
	固定資産合計	126,281	118,366	▲7,915
繰延資産	147	101	▲45	
資産合計	230,945	221,757	▲9,188	
流動負債	買掛金	39,693	41,189	+1,495
	短期借入金	43,824	27,878	▲15,946
	1年内返済予定の長期借入金	17,621	14,826	▲2,795
	1年内償還予定の社債	720	1,130	+410
	ポイント引当金	13,437	14,128	+690
	その他	18,421	21,437	+3,015
	流動負債合計	133,717	120,589	▲13,128
固定負債	社債	180	3,665	+3,485
	長期借入金	27,793	26,650	▲1,142
	その他	7,443	8,191	+747
	固定負債合計	35,417	38,507	+3,090
負債合計	169,135	159,096	▲10,038	
純資産合計	61,810	62,660	+850	
負債・純資産合計	230,945	221,757	▲9,188	

店舗数増加したものの
商品は減少
⇒回転率16.9回に上昇

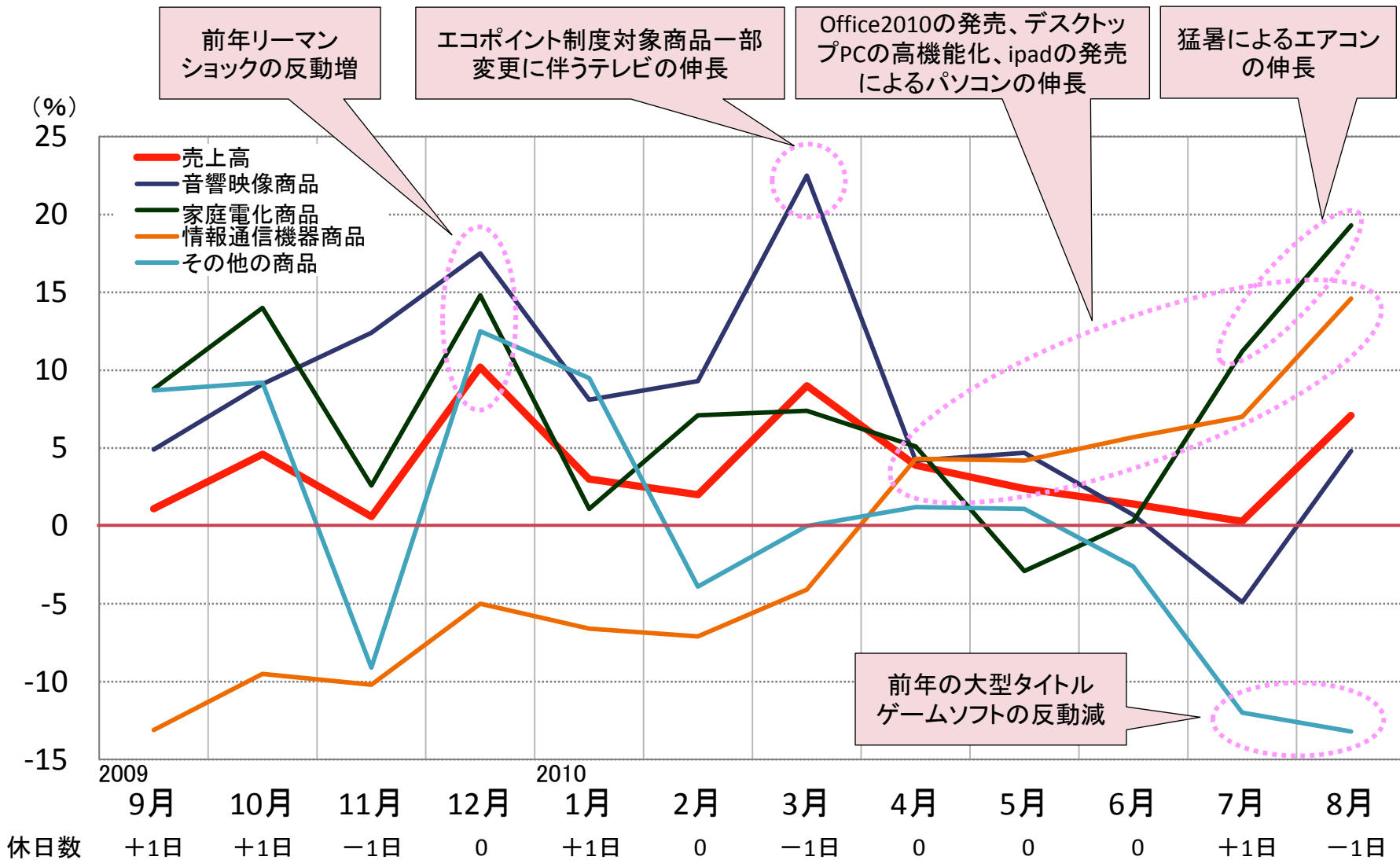
有利子負債大幅減少
901億円⇒741億円



品目別売上高<連結>

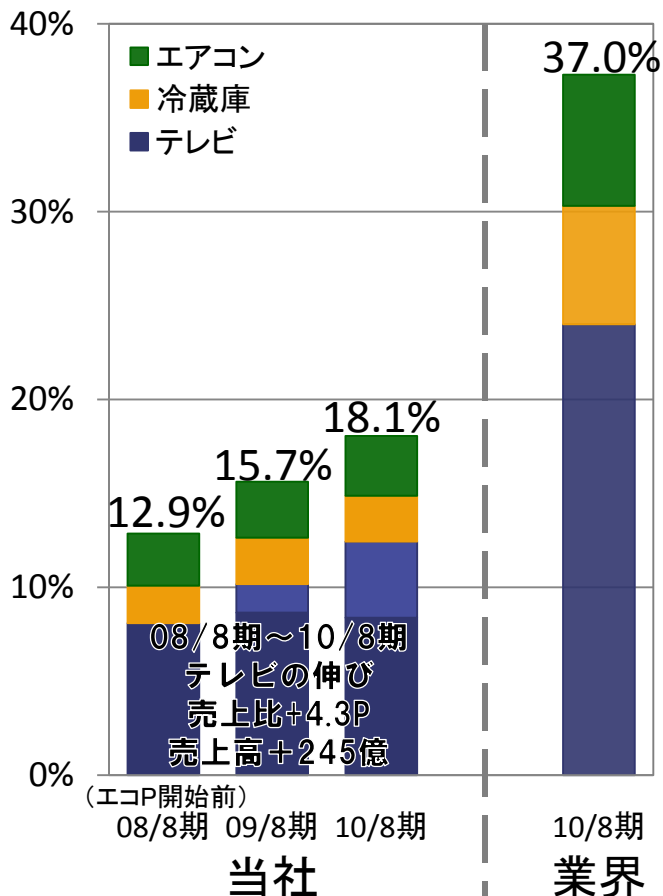
	2009年8月期		2010年8月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
音響映像商品	181,546	30.8	196,365	32.3	+8.2	+14,818
カメラ	42,921	7.3	43,273	7.1	+0.8	+351
テレビ	59,928	10.2	75,607	12.4	+26.2	+15,678
ビデオデッキ・カメラ	28,537	4.8	30,565	5.0	+7.1	+2,028
その他	50,159	8.5	46,919	7.8	▲0.1	▲3,240
家庭電化商品	84,523	14.3	90,036	14.9	+6.5	+5,512
冷蔵庫	14,571	2.5	14,826	2.5	+1.7	+254
季節家電(エアコン含)	17,563	3.0	19,375	3.2	+10.3	+1,811
理美容家電	15,043	2.5	17,058	2.8	+13.4	+2,015
その他	37,345	6.3	38,775	6.4	+3.8	+1,430
情報通信機器商品	201,380	34.2	199,134	32.7	▲1.1	▲2,245
パソコン本体	55,410	9.4	59,613	9.8	+7.6	+4,202
携帯電話	54,791	9.3	56,749	9.3	+3.6	+1,958
その他	91,178	15.5	82,771	13.6	▲0.1	▲8,407
その他の商品	117,714	20.0	118,261	19.4	+0.5	+547
ゲーム	38,058	6.5	38,580	6.3	+1.4	+521
その他	79,656	13.5	79,681	13.1	▲0.0	+25
物品販売事業	585,165	99.3	603,798	99.3	+3.2	+18,632
その他の事業	4,011	0.7	4,476	0.7	+11.6	+465
合計	589,177	100.0	608,274	100.0	+3.2	+19,097

月次売上高の推移〈単体全店：POSベース〉 **ビックカメラ**

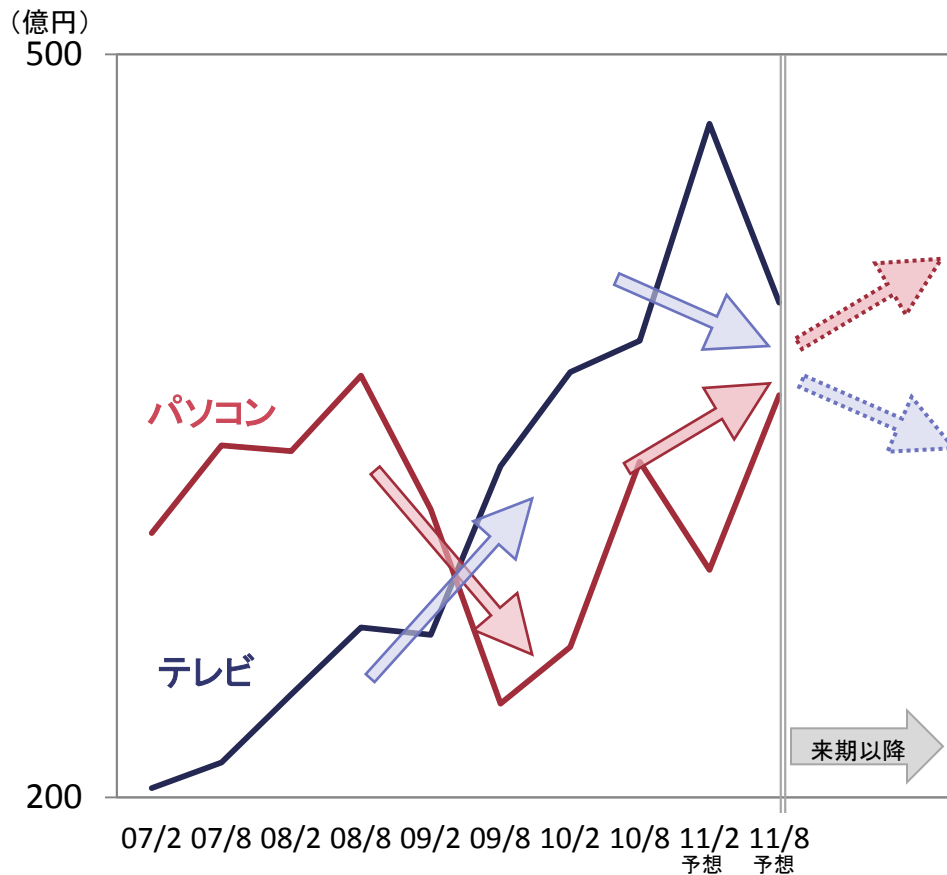


家電エコポイント制度の影響

エコポイント制度対象商品の
売上に占める割合



当社のテレビ・パソコン
半期売上の推移と今後の見込み



※「業界」数値はGfK Japan調べ ※連結開示ベースの「エアコン」は扇風機、ヒーター等を含む

開店した新店<単体>



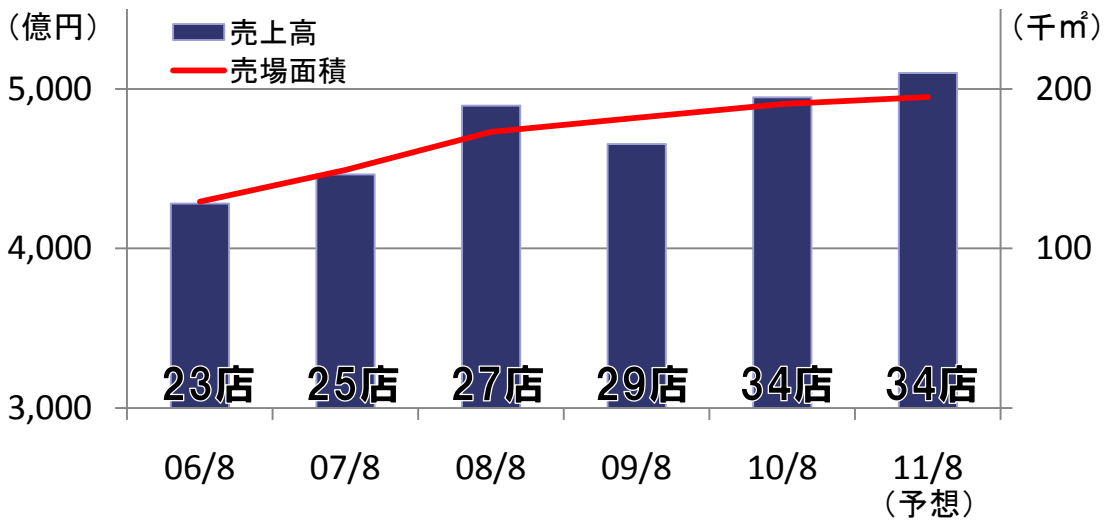
鹿児島中央駅店	5,500m ²
船橋駅店	1,750m ²
聖蹟桜ヶ丘駅店	1,550m ²
新宿東口駅前店	600m ²
相模大野駅店	2,050m ²

全店舗黒字化
(いずれも2010年2月開店)



■新宿東口駅前店(上) 新宿東口駅前のランドマーク
■鹿児島中央駅店(下) 九州新幹線のターミナル

売上高・売場面積・店舗数の期末実績(単体)



2. 2011年8月期 業績予想

業績予想〈連結〉

		2010年8月期 実績		2011年8月期 業績予想			
		実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
上 期	売上高	298,438	100.0	313,000	100.0	+4.9	+14,562
	営業利益	6,518	2.2	8,100	2.6	+24.3	+1,582
	経常利益	2,089	0.7	8,800	2.8	+321.2	+6,711
	当期純利益	1,688	0.6	2,800	0.9	+65.8	+1,112
通 期	売上高	608,274	100.0	622,000	100.0	+2.3	+13,726
	営業利益	14,764	2.4	15,600	2.5	+5.7	+836
	経常利益	11,759	1.9	17,600	2.8	+49.7	+5,841
	当期純利益	5,965	1.0	7,500	1.2	+25.7	+1,535

▼前期は多額の持分法投資損失を計上したが今期は持分法投資利益への反転を見込む

▼特別損失は資産除去債務の計上を見込む(約20億円)

業績予想〈単体〉

		2010年8月期 実績		2011年8月期 業績予想			
		実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
上 期	売上高	240,839	100.0	256,000	100.0	+6.3	+15,161
	営業利益	5,745	2.4	7,200	2.8	+25.3	+1,455
	経常利益	6,218	2.6	7,900	3.0	+27.1	+1,682
	当期純利益	632	0.3	2,600	1.0	+311.4	+1,968
通 期	売上高	494,766	100.0	510,000	100.0	+3.1	+15,234
	営業利益	13,250	2.7	13,500	2.7	+1.9	+250
	経常利益	14,762	3.0	15,000	2.9	+1.6	+238
	当期純利益	4,085	0.8	6,000	1.2	+46.9	+1,915

▼ポイント費用 計画8.2%(前期比▲0.1P)

主要子会社の業績予想 - 1

株式会社ソフマップ



	2010年8月期		2011年8月期			
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
売上高	91,143	100.0	89,300	100.0	▲2.0	▲1,843
営業利益	▲254	▲0.3	450	0.5	—	+704
経常利益	▲28	▲0.0	600	0.7	—	+628
当期純利益	▲183	▲0.2	100	0.1	—	+283

- ◆低粗利商品の取扱い削減、ポイント費用の管理強化、物流改革によるコスト削減および上場費用等が無くなることから黒字転換を見込む

主要子会社の業績予想 - 2

日本BS放送株式会社



	2010年8月期		2011年8月期			
	実績 (百万円)	売上比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	前期差異 (百万円)
売上高	3,595	100.0	4,300	100.0	+19.6	+705
営業利益	106	3.0	170	4.0	+60.4	+64
経常利益	10	0.3	90	2.1	+800.0	+80
当期純利益	6	0.2	80	1.9	+1233.3	+74

◆引き続き堅調な業績を見込む

BS11で放送中の番組



独自の無料3D番組



IN side OUT



家電's Walker

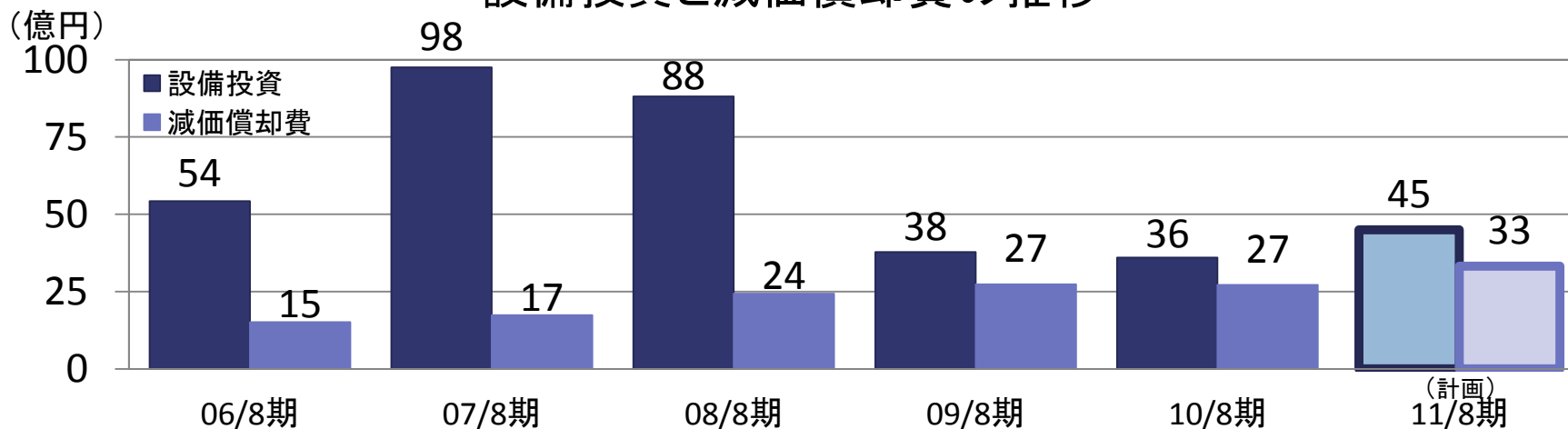
新規出店〈単体〉・設備投資

JR八王子駅店

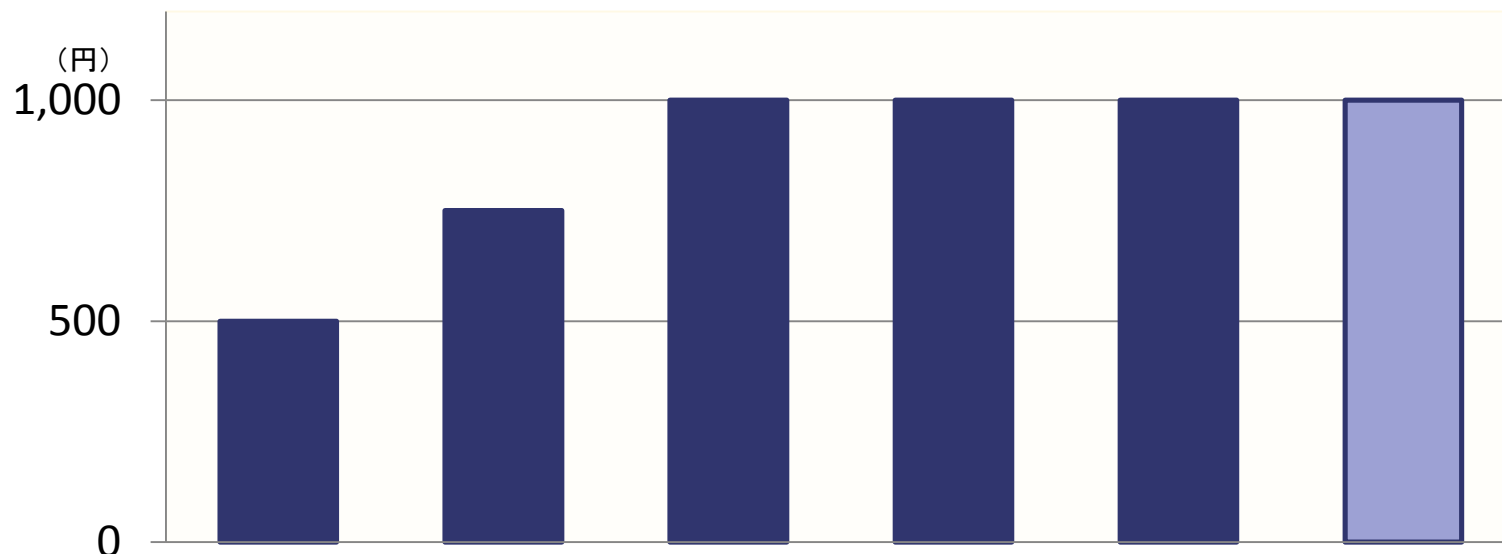
- ・JR八王子駅に直結
- ・商圈は東京多摩地区に加え神奈川や山梨方面を見込む
- ・2010年11月11日開店予定
- ・面積 約8,000㎡



設備投資と減価償却費の推移



配当金



決算年月	2006年 8月期	2007年 8月期	2008年 8月期	2009年 8月期	2010年 8月期予定	2011年 8月期計画
1株あたり配当額 (円)	500	750	1,000	1,000	1,000	1,000
配当性向 (%)	10.4	15.6	—	32.9	28.5	22.9
純資産配当率 (%)	2.7	2.5	2.1	3.0	2.8	—

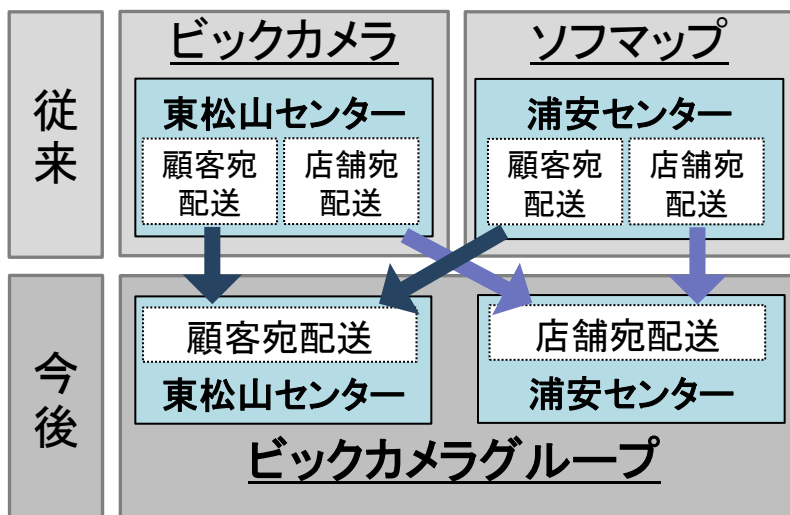
3. 今後の取組み

物流体制の効率化

首都圏

大型物流拠点を機能別に整理

- ・東松山⇒顧客宛配送
- ・浦安⇒店舗宛配送(パススルー)

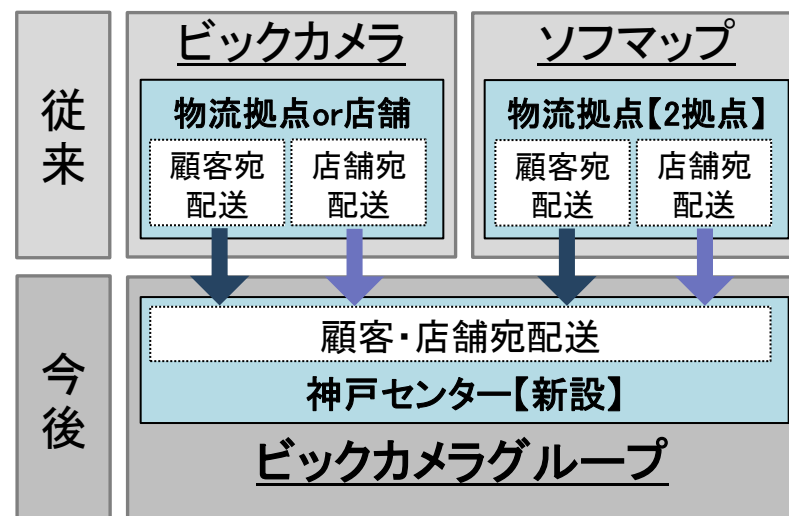


※変更に伴いソフマップ幕張センター廃止
※両社のECの配送は東松山センターに一本化

関西圏

大型物流拠点を新設し効率化

- ・各拠点⇒廃止



※変更に伴い旧拠点全て廃止(3拠点)

結果

- ・物流コストの大幅削減
- ・店舗および顧客への商品配送に係る時間の短縮
- ・ビックカメラおよびソフマップの在庫共有化に伴う在庫圧縮

ビックカメラV-Link(商品需要予測補充システム)

V-Link
自動発注設定率の改善
→V-Linkが正常に稼働

2010年8月期(連結)

- ・売上高前期比 103.2%
- ・在庫金額前期比 95.3%
- ・出店数 5店(単体)
- ・増加売場面積 +6.4千m²

V-Link対象商品の
増加・精度向上
欠品率の低下
→販売機会逸失の回避

在庫の減少
在庫回転数の増加
→陳腐化リスクの低下
→粗利率の改善に寄与

ROAの向上

- ◆今期は本格稼働後初めての通期寄与
- ◆今後更なる精度向上とV-Linkを活用した商談に一層注力

通信販売チャネル(インターネットショッピング・TV通販) **ビックカメラ**

◆EC事業部の設置

- ・ビックカメラとソフマップのEC事業を統合し効率化と更なる成長を目指す

◆インターネットショッピングでの取組み

- ・今回の物流体制効率化により配送時間の短縮が促進
- ・支払方法多様化による利便性の拡大
- ・スマートフォンに対応したモバイルサイトの強化

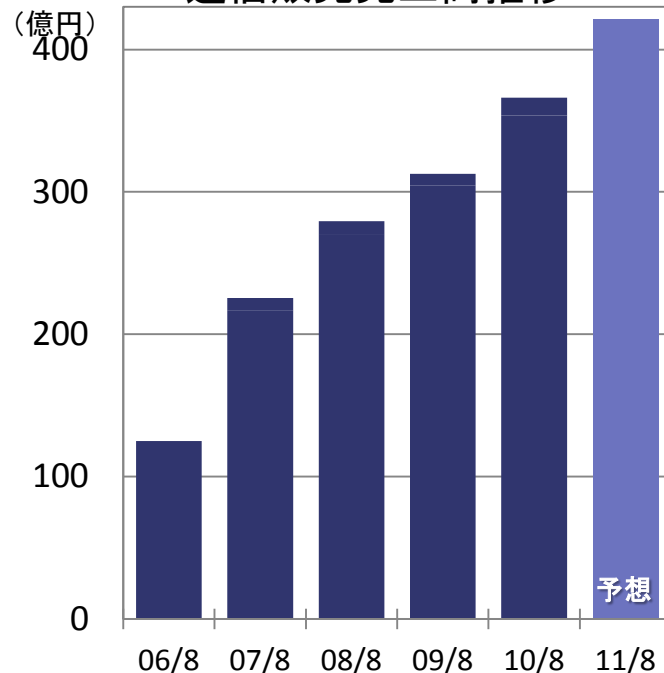
◆カタログ通販事業の開始

- ・当社店舗の無いエリアの郵便局やコンビニエンスストアに当社の通販カタログを配置し、新規顧客の開拓や当社の認知度向上をめざす



通信販売は今後も大きな成長を見込む

通信販売売上高推移



ビックカメラSuicaカード



発行枚数55万枚を突破

2006年3月に発行開始

⇒10/8期末には55万枚を超え、今後も大きな成長を見込む

利用金額が2倍

ビックカメラSuicaカード顧客とビックポイントカード顧客とでは、年間利用金額に大きな開き

⇒発行枚数の増加による増収効果に期待

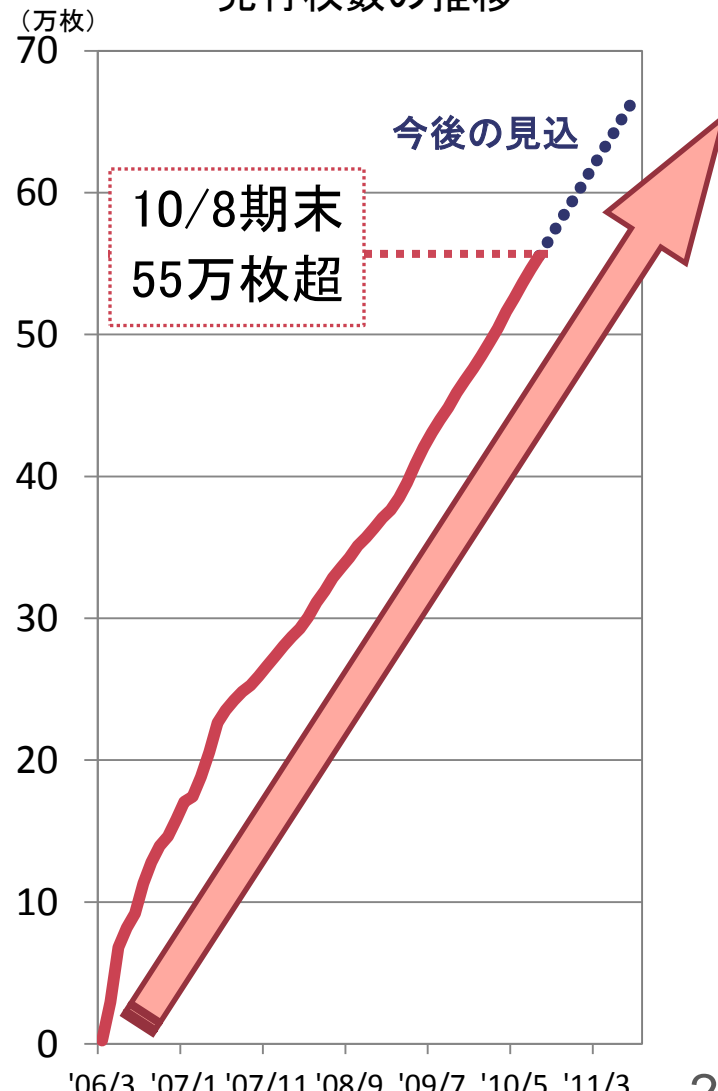


発行枚数が2,700万枚を突破したビックポイントカード



人気のビックカメラSuicaカード

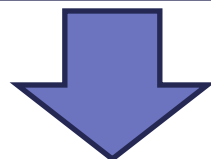
ビックカメラSuicaカード発行枚数の推移



売上の増強 — 本部のスリム化

	ビックカメラ・ソフマップ
現状 (2010年2月末)	480名
削減後	330名
削減人数	150名

ソフマップの完全子会社化により
本部のスリム化が可能となった



本部人員の約1/3を営業現場に投入することにより
販売力の強化とお客様満足度の向上をねらう

新たな取組み

1. アウトレットの別法人化

- ・アウトレットの強い需要
⇒ビックカメラのブランドで新たなマーケットを開拓



ビックカメラ アウトレット外観

2. 駅ナカでの試行

- ・JR東日本東京駅地下の商業施設「グランスタ」内にカジュアルな電化製品のセレクトショップとして「ビックカメラ セレクト」を期間限定出店
- ・大都市の駅前に展開する当社の強みを活かした試み



ビックカメラ セレクト店内

新たな取組み

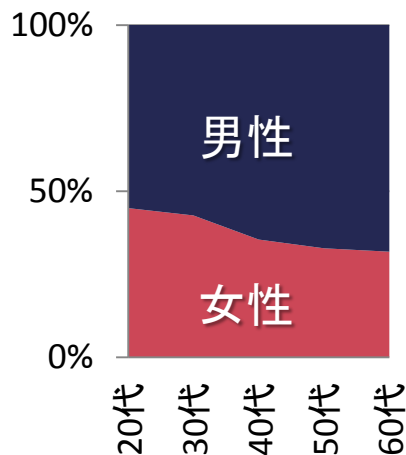
3.女性マーケットへの浸透

- ・従来は男性が中心だったカメラを女性に訴求
- ・理美容器具の体験体感コーナーを充実
- ・実演で調理家電の様々な利用用途を提案



カメラコーナー展開

ポイントカード保有割合

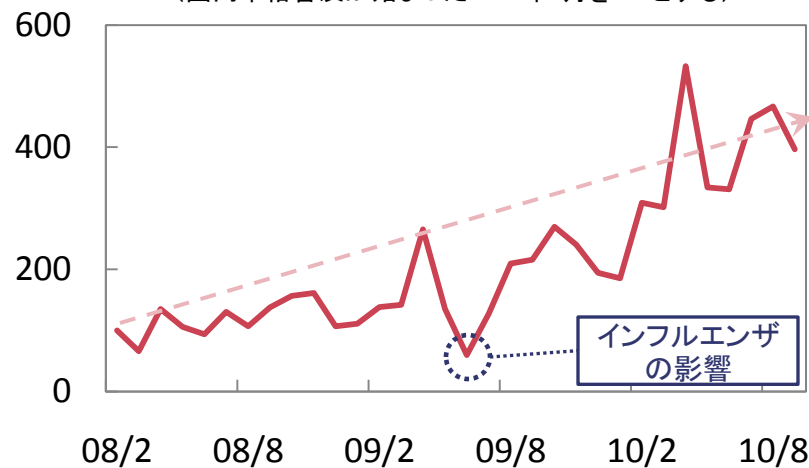


4.外国人顧客対策

- ◆外国人顧客対策
 - ・外国人旅行者向け専用ポイントカードの発行 (ビックツーリストポイントカード)
- ◆中国人旅行者向け施策
 - ・中国語通訳の拡充
 - ・VELOクーポン

銀聯カード取扱い金額の推移

(国内本格普及が始まった2008年2月を100とする)



インフルエンザの影響

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2010年10月19日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2010年10月19日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2010年10月 株式会社ビックカメラ